



祝祭日には



を掲げましょう



1 - とっても仲良しな明石夫妻 2 - 住宅内部もこだわって制作
3 - 完成した明石邸（縮尺約20分の1）

キラリ 金山びと

| No. 5 |



金山型住宅の魅力を伝えたい—— 好きなことはできるうちにやってみる

明石 ^{ぎいち}儀一さん (81) ^{せつこ}節子さん (76) = 朴山 =

「金山型住宅の魅力は白壁と切妻屋根。この伝統ある美しい住宅と、金山の街並みが大好きなんだ」と話すのは、朴山地区に住む明石儀一さん。このたび、儀一さんが手がけたのは、夫婦で住む自宅と同じ間取りの金山型住宅の模型。材料には、適所に金山杉が使われ、屋根部分は取り外しが可能。家の中の部屋や、障子、玄関、切妻屋根の色など、細部まで儀一さんのこだわりが詰まった作品が完成しました。金山住宅や街並みに興味を持ったきっかけは、節子さんと一緒に町内をドライブしたこと。節子さんの「役場前の街並み、とっても綺麗だよ」の一声から、元々のづくりに興味を持っていたこと、若い時の大工仕事の経験から、こんな家に住んだら楽しそうだなと、インスピレーションを受けて、住宅作りを始めました。

今回制作した自宅の模型は、3作品目。ニラの出荷を終えた、2年前の12月から春先にかけて制作し、今年の3月に完成させた超大作。儀一さんは「金山住宅は何度見てもいつでも立派だなと感じる。誰に言われるでもなく好きなように作っているから本当に楽しいんだ」と目を下げて話します。節子さんは「作り始めると時間など関係なく熱中している。高齢になっても趣味があるっていいのはとてもいいことだね」と二人で顔を見合わせて笑います。本業はニラ農家。「体が元気なうちは、夫婦仲良く、仕事も趣味も好きなだけ楽しみたい」とご夫婦で語ってくれました。

編集 後記

▼今年の冬は、降雪が多かった割に、雪解けも早く、春の訪れが早いような気がします。暖かい日が続き若葉の緑や桜の桃色など、さわやかな気持ちになりますね。

さて、新型コロナウイルスの流行から1年以上が経過しました。今だ猛威を振るい、県内での感染者も増えている状況です。今月から金山町でもワフチン接種がスタートしますが、引き続き、一人ひとりができる感染防止対策を行い、生活していきましょう。

金山町の人口は、5,205人 (3月末現在)

	男性	2,551人 (-4)
	女性	2,654人 (-2)
	世帯数	1,750世帯

▼3月の異動

出生	1人
死亡	12人
転入	13人
転出	43人